

【Web サイト公開用成果報告】

1. 本研究の背景と SDGs との関連性

本研究は、SDGs 目標 12 の「持続可能な生産・消費」の中で、特にターゲット 12.3「フードサービスの全サプライチェーンの中で、フードロスを半減にする」に焦点を当てています。

2. 本研究の目的

生産された野菜や果物が規格外という理由で廃棄されている社会問題の解決を目指して、「SDGs フードロス新生プロジェクト」という学生参加型の産学共同研究を行っています。そこで本研究では、4つの研究課題に取り組むことにしました。

- (1) 規格外食材を活用した SDGs 商品のレシピの企画
- (2) そのレシピをパートナーに支援・協力してもらい試作・試食・改良・製造後に、最終商品を販売するイベントの企画・実施
- (3) そのイベントの来場者やその他に対して、SDGs 食育プログラムを視聴してもらうことや、SDGs フードロス削減のワークショップの企画・実施
- (4) アンケート/インタビュー調査を設計・実施して、「SDGs フードロス新生プロジェクト活動」の有効性の検証

3. 学生参加型の「SDGs フードロス新生プロジェクト」の販売イベント企画と調査

3.1 SDGs 野菜染めグッズの販売イベント、SDGs 食育動画、アンケート調査

2021年7月6日から9日の4日間、JA 東京アグリパークで「夏野菜フェア：フレッシュ！サマベジ！」というイベントが開催され、その出展ブースの一つをお借りして、青山学院大学経営学部玉木研究室として、「SDGs 野菜染めグッズ」の販売キャンペーンと、来場者に対して SDGs 食育動画を視聴してもらい、アンケート調査を実施しました。

販売イベントで用意した SDGs 野菜染めグッズは、「トートバッグ」、「ガーゼハンカチ」、「巾着 (小)」、「巾着 (大)」、「靴下」の5つの品目です。染料として使用した素材は、赤紫蘇、アボカド、玉ねぎ、紅茶とコーヒーの残渣、パッションフルーツと葡萄の皮などがあり、「薄黄色」、「黄色」、「茶色」、「ピンク」、「灰色」、「紫」の合計6色の商品を品揃えしました。



3.2 SDGs スイーツの販売イベント、アンケート調査

2021年12月11日に府中郷土の森観光物産館において、「おやつが SDGs に！しっとり野菜ケーキ」の販売キャンペーン、アンケート調査を実施しました。プロジェクトの組織体制を以下に示します：企画者：多摩地区グリーンツーリズム協議会、本学学経営学部 玉木研究室 SDGs フードロス・チーム、製造：マロニエ、野菜提供：JA マイNZ、プロデュース：青山 Hicon。

